

# 古民家再生・与野本町の民家

設計：アルテック/建築家 阿部 勤  
 施工：建築 吾原/棟 梁 吾原順二

大宮の近くの鎌倉街道沿、1884年(明治17年)に建てられ130年住み続けられた民家の再生である。

後から増築された部分を撤去し出来るだけ原型に近い形とした。土壁、屋根は垂木から上を撤去しほとんど軸組だけにし、補強、改修した。

## ■残したい、物、空間、技術

街道の風景を作っている“市”の建つ為の道と建物との空間。同じく街並の風景を作っている、大きな瓦の屋根、深い軒の出、格子戸。間口5間、奥行き3間の無柱空間。土間空間。大黒柱、恵比寿柱、差し桁、梁等の大断面の木材とそれを組む術。座敷の連なり。大きな断面材の小屋組。組む技術。継ぎ手仕口等の継ぐ技術。細かい細工の技の見られる建具等。

## ■新たに加えた物、空間、技術

5×3間の無柱空間の両側に、その空間を構造的、機能的、設備的にサポートする為の1.5×3間の空間を増築。天井を撤去して空間に小屋部分を取り入れる。5×3の空間の2階西側にサンルームを設け、建物の中央部に光と風を取り入れる。2階部分に可動間仕切りにより個室空間を設ける。建物に囲まれた部分に広縁(月見代)を設け野外生活空間を作る。高性能な大きな建具撤去した樫の上がり框などの既存材を転用。門の移築。伝統構法の技術を継承。

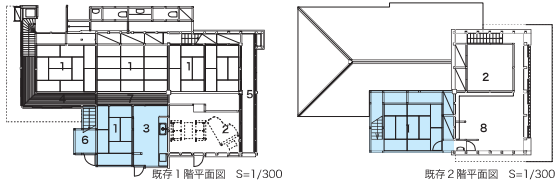


既存改修前外観

既存改修前内観



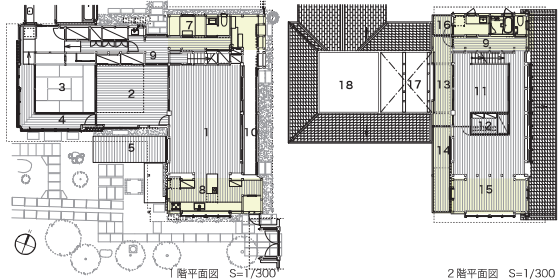
格子戸の上側の空間を再生



既存1階平面図 S=1/300

既存2階平面図 S=1/300

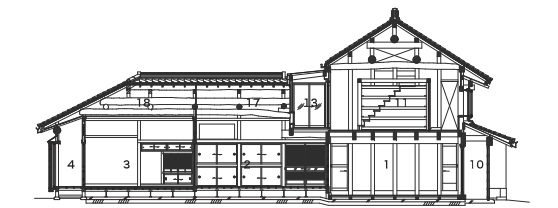
撤去部 新設部 1,和室 2,洋室 3,台所 4,縁側 5,土間 6,玄関 7,廊下 8,書斎



1階平面図 S=1/300

2階平面図 S=1/300

1,リビング・ダイニング 2,板の間 3,和室 4,縁側 5,月見台 6,玄関 7,納戸 8,キッチン 9,廊下 10,土間 11,寝室 12,ウォークインクローゼット 13,サンルーム 14,サンデッキ 15,ファミリールーム 16,サービスデッキ 17,牧場 18,小屋組



断面図 S=1/150

PHOTO BY : Photographer. MITSUMASA FUJITSUKA (1.2.3.4.7)



3

5間×3間の無柱空間



4

既存天井を取り小屋を別じとする



5

旧表割の外観



6

古い民家の中心部分に光と風を取り入れる



7

縁側のある無柱の小屋組